

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	社会福祉論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	前期	教室名	新館2F,3F
担 当 教 員	向井洋江	実務経験とその関連資格	三田市社会福祉協議会ソーシャルワーカー・豊中市生活相談員・渋谷区基幹型支援センター長・ソーシャルサポート灯台合同会社代表等 社会福祉士・主任介護支援専門員			
《科目目標》						
社会福祉の理論と制度を知り保健医療福祉との連携の必要性を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】終講試験90%、小テスト10%						
【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシンググラフィカ 16巻 社会福祉と社会保障 メディカ出版 各市町の発行する福祉におけるパンフレット 新聞記事など						
《授業外における学習方法》						
4回程度理解度確認するためのチェックテスト(小テスト)を実施するので学習内容を復習して臨むこと						
《履修に当たっての留意点》						
福祉の視点から対象の暮らしを社会的に支える仕組みについて学習する。地域包括ケアシステムを構築するうえで重要な視点となる。社会学、公衆衛生学、社会保障制度、関係法規、地域包括ケアシステム論の学習内容と合わせて理解する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉とは何か	・テキスト ・プリント	新聞やテレビなど関心を持って傾聴する。	
		各コマにおける授業予定	社会福祉の歴史について考察する。社会福祉法及び福祉6法を知る。			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者福祉について	・テキスト ・プリント 小テスト①	自分自身の身近な高齢者の生活問題について考察する。	
		各コマにおける授業予定	高齢者の状況 高齢者福祉の施策及び老人保健事業を知る。事例を通して考える。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害児・者の福祉について	・テキスト ・プリント 小テスト②	自分自身の身近な障害者の生活問題について考察する。	
		各コマにおける授業予定	障害の定義と特徴、および障害者福祉の理念を学ぶ。障害者福祉の施策について知る。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	児童家庭福祉について 1	・テキスト ・プリント 小テスト③	新聞やテレビなど関心を持って傾聴する。	
		各コマにおける授業予定	児童と育ちの環境としての家庭生活の現状を考察する。児童に関わる法と施策を知る。			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	児童家庭福祉について 2	・テキスト ・プリント 小テスト④	新聞やテレビなど関心を持って傾聴する。	
		各コマにおける授業予定	少子化対策と子育て支援及び児童虐待の現状を知る。子供の人権と貧困対策を考察する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	社会福祉援助について	・テキスト ・プリント	実習現場においての他職種について振り返る。
		各コマにおける授業予定	援助とは何か、看護の仕事から考察する。また、他職種との連携について事例をとおして考察する。		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	地域包括ケアシステムにおける職種間の連携について	・テキスト ・プリント	宿題として配布した事例を熟読し、授業に備えること。
		各コマにおける授業予定	グループワークを行い、連携の在り方、社会福祉が看護の業務の中でなぜ必要なのかを考察する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	終講試験		
		各コマにおける授業予定	終講試験		